

# 幼児期の強い全身症状から屋外活動とバレエが可能になった小児アトピーの経過 (11 歳女兒)

症例 ID：001-11-KMi | 記録日：不明

## 1. 診断・治療前経過

1 歳過ぎから皮膚症状が出始め、近所の皮膚科で数か月から 1 年ほど外用薬を使用しました。2 歳頃には頻繁にかゆがり、全身の関節部、眉毛、首などに強い症状がみられました。

夏は 10 分ほども外で遊べず、夜昼を問わずかゆみと痛みが続き、柔らかく薄い衣類しか着られませんでした。

## 2. ステロイド使用歴

| 項目    | 内容                                |
|-------|-----------------------------------|
| 使用内容  | 皮膚科で外用薬を使用していましたが、ステロイドかどうかは不明です。 |
| 製品名   | 不明です。                             |
| 強度    | 不明です。                             |
| 使用期間  | 数か月から 1 年程度です。                    |
| 中止時期  | 松本医院受診後は、それまでの外用治療から移行しました。       |
| 来院前／後 | 来院前に外用薬の使用歴があります。詳細は不明です。         |

## 3. 治療開始後の経過（リバウンドを含む）

| 時期     | 治療開始から | 経過                                          |
|--------|--------|---------------------------------------------|
| 1 歳過ぎ  | 発症     | 皮膚症状が出始め、近所の皮膚科で外用薬を使用しました。                 |
| 2 歳頃   | 来院前ピーク | 全身の関節部に強い症状があり、眉毛が抜け、首を曲げにくいほどのひび割れがみられました。 |
| 幼児期    | 生活制限   | 夏は短時間しか外遊びができず、柔らかい衣類以外は着用が難しい状態でした。        |
| その後    | 治療開始   | 知人の紹介で松本医院を受診し、内服と外用治療を開始しました。              |
| 治療初期   | 症状の波   | 掻くたびに皮膚が剥がれる状態を繰り返しました。                     |
| 5 歳頃   | 生活変化   | 皮膚状態が落ち着き、レオタードとタイツを着てバレエを始められました。          |
| 11 歳時点 | 経過後    | 屋外で元気に遊べる生活を送っていました。                        |

## 4. ピーク時期

ピークは、2 歳頃に全身の関節部の症状、首のひび割れ、昼夜を問わないかゆみと痛みが続いた時期です。

## 5. 困りごと

- 夏に短時間しか外遊びができず、熱さとかゆみで泣くことが多くありました。
- 首を曲げにくいほどのひび割れがあり、衣類も柔らかく薄いものに限られていました。
- レオタードやタイツを着られず、希望していたバレエを諦めていた時期がありました。

## 6. 経過のまとめ

治療開始後は皮膚が剥がれる状態を繰り返しながら、少しずつ皮膚状態が落ち着いていきました。

5 歳頃にはレオタードとタイツを着てバレエを始められ、その後は屋外で元気に遊べる生活を送れるようになりました。

本ページは、患者さんの経過を時系列で整理したものです。  
症状や経過には個人差があり、同様の経過や結果を保証するものではありません。